

## 明治大学教育会紀要論文原稿執筆要領（改定）

### 1 執筆について

- (1) 横書き（原則として）
  - (2) 表題，副題（副題は必要に応じて）及び中見出を付ける。
  - (3) 数字及び年号等の表記について
    - a) 年号は西暦。必要に応じて後ろに元号を記す。例 2015（平成 27）年
    - b) 数の概念がある場合はアラビア数字。
    - c) 熟語のなかに使用されているものは漢数字。例 第一，一度
    - d) 数字が 2 つ以上並ぶ場合は原則として 2 文字で 1 ます。
    - e) 「……」は 2 ます分。
  - (4) 用語について
    - a) 子供→「子ども」，一人一人→「一人ひとり」
    - b) 漢字の使用法は原則として執筆者尊重。同一原稿内に違う表記がある場合のみ統一させる。
    - c) なるべく当用漢字の範囲内で書く。表外漢字で難読漢字には，ふりがなを付ける。
  - (5) 注について
    - a) 注及び引用文献は論文末に一括して記載する。実践の記録では，適宜文中に入れる。
    - b) 注の記述について
      - ・論文，雑誌，引用……「」，イタリック
      - ・著書，新聞，引用内の引用……『』，活字体
- 例 (1) 勝田守一『教育と教育学』岩波書店 1970 年 7 月 107 頁
- (2) ディートリッヒ・フォン・クヴァイス 別府昭郎訳『ドイツにおける大学教育の構造，諸問題及び改革動向』明治大学国際交流センター 2001 年を参照。
- (3) 丸山真男『現代政治の思想と行動』未来社 初版 1964 年 5 月 13 頁。
- (4) *Spranger, Eduard : Wandlungen im Wesen der Universitat seit 100 Jahren, 1913. S.17.*
- (5) コメニウス (*Comenius, Johann Amos*) 鈴木秀雄訳『大教授学』(上)明治図書 1962 年 13 頁。
- (6) *Deutsch, M., "Equity, Equality, and Need", Journal of Social Issues Vol. VII, July 1992, PP.137-138*

### 2 文字の号数について

本文	10.5 ポイント (MS 明朝)
表題	14 ポイント (MSP ゴシック)
副題	10.5 ポイント (MSP ゴシック)
著者名	10.5 ポイント (MS 明朝) * 右 1 字アキ
中見出	10.5 ポイント (MSP ゴシック)
注	8 ポイント * 47 字×45 行
表	7 ポイント

### 3 組様式等

用紙サイズ A4 横書き（原則），文字数 1P あたり…40 字×37 行（1480 字）12 枚以内  
余白（上下 25mm、左右 30mm）

以 上